

日販連通信

発行者：日本販売農業協同組合連合会

中塚 敏春

第30号
2011年9月7日 発行

住所：〒151-0053

東京都渋谷区代々木2-5-5

新宿農協会館

電話：03-3375-6399 Fax：03-3375-6637

Eメール：info-agricoop@pearl.ocn.ne.jp

死者・行方不明100人を超える大被害

台風12号

和歌山県紀ノ川農協松本専務からの情報





四国沖の太平洋から日本海側へと日本列島を通り抜けた台風12号にともなう記録的な豪雨は、各地に河川の氾濫や土砂崩れをもたらし、和歌山、奈良、三重の3県を中心に亡くなった人や行方不明者が100人にのぼるといふ、大きな被害をもたらしました。亡くなった方とご家族、被害を受けた方々に、心からお悔やみとお見舞

いを申し上げます。

大型で動きが遅かった台風12号による記録的な大雨は、通過した四国や中国地方だけでなく、進路の東側にあつた関東や東海、北陸、関西をはじめ、遠く北海道まで、日本列島の広い範囲で大きな被害を及ぼしました。とくに太平洋から雨雲が次々と押し寄せた紀伊半島の和歌山、奈良、三重の3県では、年間の雨量の3分の2近くが数日間で降ったといわれるほど、記録的な豪雨に見舞われました。各地で河川が氾濫して、あふれた水が民家を襲い、広い範囲で地域が孤立、土砂崩れが土石流や鉄砲水をもたらして被害を大きくしました。

【和歌山県紀ノ川農協の松本和広専務より】

2011年9月7日

大変ご心配をおかけいたしました。

幸いにも、人命にかかわる被害はありませんでした。

当農協の事務所のある周辺は、大雨によるため池の決壊による避難地区が一部あったり、ところどころ土砂がくずれて封鎖されているところが一部ありますが、大きな被害はありません

でした。特に、風が思ったほど吹かなかったので、柿をはじめとする秋果実の大きな被害はみられませんでした。

ただ、和歌山県中南部の被害は甚大で、当農協も全県エリアに組合員がいる関係で、田辺市龍神村(高原ピーマン栽培)では、雨による土砂崩れにより、連絡がなかなかつかない状態と周辺町村へのアクセスができずに、陸の孤島状態になっています。法人組合員である、古座川平井の里のある古座川町(ゆず、ゆず関連加工品)では、ライフラインに支障をきたし、水道が完全にとまったままとなっており、工場稼働ができない状態。また、働いている加工場の職員の集落が本人宅も含め1メートル程度浸水するなどの影響が出ました。

紀ノ川農協の支所のある日高川町では5件の組合員が柑橘畑が浸水して泥水をかぶった状態になっており、今後への影響が心配されています。また、同地区(日高川町松瀬地区)の組合員4件で農業倉庫が流されたり、花(バラ)のハウスが浸水により破損するなどの被害が出ています。

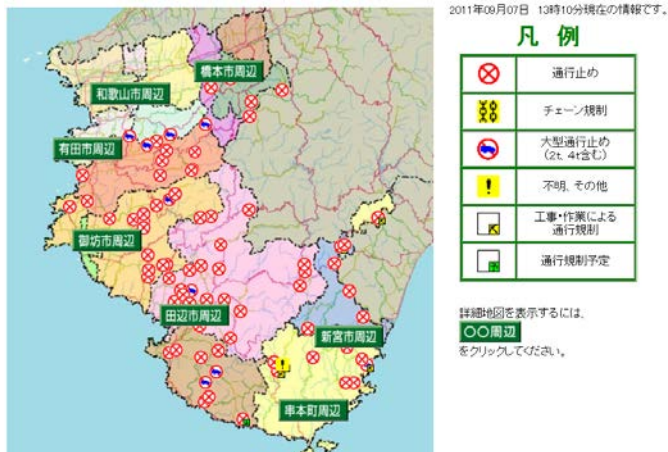
農協としても、これからどう動いていくかを、情報収集しながら対策を決めていこうと考えています。

本日、和歌山県農民連の役員会で、今後の対応を協議する予定です。

【お願い】

今回の被災地はもともと交通事情の悪い地帯が多く、今回の豪雨によって土砂災害で道路が遮断されたところが随所にあります。工事車両や緊急自動車の邪魔になることや、地盤が緩んでいたり、「土砂ダム」による二次被害の心配もあります。

支援、救援などにつきましては、自己判断では行わず、必ず現地の指示に従ってください。



原発から撤退の請願書、 放射能分析装置募金のお 願いの発送を開始！！



全国すべての農協、1100農協・支店に

全国のすべての農協に「原発からの撤退を求める請願署名」と「放射性核種分析装置導入募金のお願ひ」を各20枚封筒に入れての発送を開始しました。昨日(9月6日)480農協、本日246農協に発送し、今週中には作業を終える予定です。

一人でも多くの方に原発事故について考えていただき、「原発からの撤退」のただ一点での大きな運動になればと期待しています。



みなさまのご意見・ご感想をお待ちしております。 アドレス: info-agricoop@pearl.ocn.ne.jp